



#### 報道各位

# 「通天閣 新・天井画」の原画が完成

~2015年07月03日、通天閣脚部の天井にお目見え~

大阪の名所を彩る"花園で遊ぶクジャク図"



完成した「新・天井画」原画

沖谷 晃司 氏 画

株式会社クラブコスメチックス(大阪市西区西本町2丁目6番11号 代表取締役社長 中山 ユカリ)が、「通天閣」免震改修工事と連動して制作にあたっておりました脚部天井画の原画が完成いたしました。この原画は、明治45年に完成した初代通天閣のエントランスに、当社の前身である「中山太陽堂」が広告として掲出しておりました天井画を復刻したもので、100年の時を超え現代に甦らせたものです。07月の「通天閣」免震改修工事の完了に合わせ、寄贈させていただく運びとなっております。原画のサイズは1700×1700(mm)、作者は日本画家 沖谷 晃司(おきたに こうじ)氏です。

"花園に遊ぶクジャク図、と題したこの絵が、大阪の名所「通天閣」に新たな魅力を添え、多くの方々にご鑑賞いただける日も間近です。

# 新・天井画制作の経緯

○2014年07月、「未来」と「継承」をテーマに、 通天閣「NEXT210(ツーテン)」プロジェクト (展望タワーでは初となる免震改修工事等 の実施)が発表されました。

私ども株式会社クラブコスメチックスでは、 このプロジェクトの趣旨に賛同し、"文化と 娯楽の発信拠点、であった初代通天閣 (明治45年竣工)のエントランスを髣髴と させる「天井画」を復刻・寄贈することで、 通天閣の「原点の継承」の一端を担いたい と考えました。

○2014年08月、新たに寄贈する通天閣天井画の の制作に着手。往時の天井画に関する調査を 開始いたしました。

それまで株式会社クラブコスメチックス内で所蔵 していた史料は、通天閣関連の書籍を除くと 「絵葉書」しかなく、特に「色」に関する情報は 皆無といってよいような状況でした。

○2014年09月、「通天閣天井画の復刻」に関する 新聞記事を目にされた和歌山県立近代美術館 館長 熊田 司氏より初代通天閣天井画の制作 にあたったのは、版画家「織田一磨」氏である との情報を頂戴しました。

織田一磨氏は当時、中山太陽堂(現・株式会社 クラブコスメチックス)の広告部嘱託社員(1911 ~1914)として在籍。天井画制作もその業務の 一環であったものと思われます。

残念ながら、天井画そのものの原画は現存 していませんでしたが、町田市立国際版画 美術館が2000年に開催した『織田一磨展』では、 その天井画の草稿が紹介されています。

○2014年10月、織田一磨氏の天井画草稿をもと に、どのように復刻するかを検討。

初代天井画とは形など諸条件に相違点が多く、 社内で協議を重ねた結果、江口雅之氏(the lab. media solution代表取締役)にディレクショ ンを依頼し、織田一磨氏の草稿をもとに新たに 「天井画」を制作する運びとなりました。

原画制作にあたっていただいたのは、新進の 日本画家「沖谷晃司」氏です。

制作を開始したのは2014年11月初旬でした。





現在の通天閣



初代通天閣天井画(絵葉書)



初代通天閣天井画(織田一磨氏草稿) 提供:町田市立国際版画美術館



# 新・天井画の原画について

○画 題:「花園に遊ぶクジャク図」\*1

〇原 案:織田一磨(略歴別紙添付)

〇作 者:沖谷晃司(略歴別紙添付)

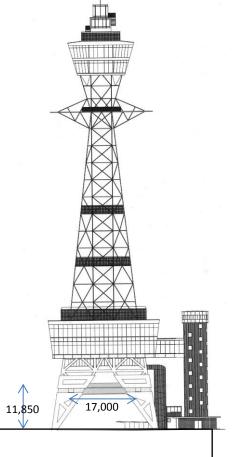
○素 材:雲肌麻紙 岩絵の具

○サイズ: 1700×1700(mm)

\*1 画題の「花園に遊ぶクジャク図」は、『通天閣30年のあゆみ』に 記載されていた当時の通天閣観光株式会社 代表取締役社長 であった西上 一氏の一文・・・「アーチ型の塔脚の天井いっぱい に描かれた、<u>花園に遊ぶクジャク</u>の姿は、今でも目に焼き付いて 離れません。実に美しいものでした」からつけたものです。

# 今後の予定について

- 〇この原画をデータ化し、実際に取り付けるフィルム に加工いたします。
- ○フィルムのサイズは縦横とも最長部が約17,000(mm)(新・天井画は八角形です)
- 〇取り付ける天井部の高さは11,850(mm)。



#### 【リリースのお問い合わせ先】

\*本件に関しましては、株式会社クラブコスメチックス 広報・販促課が承ります。

\*記録用に撮影いたしました原画制作過程(完成まで)の画像データのご提供も可能です。

担当 大川 ・木下 ・福田

e-mail info3@clubcosmetics.co.jp

TEL 06-6531-2997

FAX 06-6531-3007

URL www.clubcosmetics.co.jp



# 別紙 1

○織田 一磨(おだ かずま)氏 1882.11.10~1956.03.08 版画家

「自画石版の織田 一磨」として知られている。

- •1911(明治44)年06月:中山太陽堂 大阪広告部の嘱託社員となる。 (大阪帝国新聞社 美術部にも籍を置き兼任)
- ・1911(明治44)年09月:大阪帝国新聞社を辞め、中山太陽堂専従となる。
- ・1912(明治45)年07月:通天閣天井部の装飾をクラブ化粧品の装飾として手掛ける。 (昭和18年に戦災で焼失)。
- ・1914(大正03)年03月:サラリーマン生活を捨て、東京に移って芸術活動に専心する。



「クラブおしろい クラブはみがき」ちらし 織田 一磨 画 (明治44年)



#### 別紙 2

〇沖谷 晃司(おきたに こうじ)氏 日本画家

- ・1971(昭和46)年:石川県に生まれる
- ・1995(平成07)年:青垣2001年日本画展にて読売新聞社賞受賞

創画展 初入選(以後出品)

- •1997(平成09)年:京都市立芸術大学 大学院修了
- ・1998(平成10)年:花鳥画展にて大賞受賞(松柏美術館)
- -2007(平成19)年:新鋭作家選抜シリーズ展

新鋭作家シリーズ展2007 (HONMACHI ART GALLRY・大阪市)

・2009(平成21)年: 芦屋市立谷崎潤一郎記念館にて個展開催

その他、個展・グループ展多数



沖谷 晃司 氏

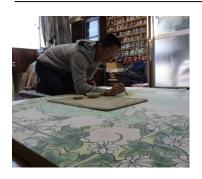


#### 完成した草稿を披露する沖谷 晃司氏(右)と江口雅之氏(左)





骨描き(沖谷氏のアトリエにて)





彩 色(沖谷氏のアトリエにて)



#### 別紙 3

#### ○株式会社クラブコスメチックス略年譜

•明治36(1903)年

神戸市花隈町で「中山太陽堂」創業

・明治39(1906)年

「クラブ洗粉」を発売

・明治40(1907)年

本店を大阪南御堂前に移す

・明治41(1908)年

「クラブ洗粉」の年間売上が900万個を突破

・明治43(1910)年

ロンドンで開催された日英博覧会に「クラブ洗粉」 を出品(一等金牌受賞)

•明治44(1911)年

現在に続く超ロングセラー「クラブ美身クリーム」を 発売

・明治45(1912)年

通天閣塔脚部天井に「クラブ洗粉」等の広告を出す

·大正02(1913)年

飛行機を使った航空広告を展開

·大正07(1918)年

大阪市南区(現・浪速区)水崎町に近代工場竣工

•大正11(1922)年

大阪市の迎賓館ともなった六甲太陽閣竣工

•大正13(1924)年

北京に「正陽公司」を設立

・大正14(1925)年

大阪堂島ビルデングに中山文化研究所を開設

上海に「太陽公司」を設立

•昭和10(1935)年

ホルモンを配合した薬用クリームを発売

•昭和12(1937)年

台湾に天然香料試験工場を設置

•昭和14(1939)年

個人経営を改め株式会社中山太陽堂に組織変更

•昭和15(1940)年

奉天工場、上海工場での生産を開始

•昭和33(1958)年

ハイティーン向け基礎化粧品「ラブ」シリーズ発売

•昭和34(1959)年

「お肌の診断」企画に応募が殺到

•昭和45(1970)年

製販を分離、クラブ商事株式会社新設

•昭和46(1971)年

社名を現在の株式会社クラブコスメチックスに変更

•昭和48(1973)年 •昭和51(1976)年 グループ会社、株式会社フルベールを設立 大阪市西区の現在地に本社タイヨービル竣工

奈良県五條市に新工場竣工

•平成10(1998)年

奈良県生駒市に化粧品文化研究所竣工

•平成16(2004)年

ISO:9001の認証を取得

•平成17(2005)年

クラブ化粧品販売株式会社(旧・クラブ商事)と合併

•平成18(2006)年

本社ビル1階に文化資料室を開設

•平成21(2009)年

本社ビルを解体、新築。新タイヨービル竣工

•平成22(2010)年 長崎県五島市と産業振興協定し、「SHIZEN 玉椿

石鹸」を発売

•平成24(2012)年

株式会社サロンドフルベール(旧・フルベール)と

合併

奈良県薬事研究センターと「ならこすめ」を共同開発

